

尾張旭市総合計画とこれまでの策定過程について

目次

第1 尾張旭市総合計画	1
1 総合計画とは	1
2 本市の総合計画の変遷	1
3 第六次総合計画策定基本方針（令和3年度に策定）	2
第2 これまでの策定過程	4
1 策定の流れ	4
2 市民参画の取組	5
3 市内部での取組	7
4 議会との関係	7

第1 尾張旭市総合計画

1 総合計画とは

- (1) 総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針で、全ての施策を網羅した市の最上位計画です。

※ 全国では約95%の自治体が作成しています。

- (2) 平成22年までは地方自治法で策定が義務づけられていましたが、平成23年の同法改正により策定義務がなくなりました。

本市では、計画的な市政運営を行うため、平成24年に尾張旭市総合計画に関する条例を制定し、平成26年度から10年間を計画期間とする第五次総合計画を策定しました。

2 本市の総合計画の変遷



3 第六次総合計画策定基本方針（令和3年度に策定） 参考資料①

(1) 必要性の検討

「市民とのビジョンの共有」「計画的な市政運営の推進」「全ての政策分野における一貫性の確保」を図るため、継続した総合計画の策定を行う

(2) 第六次総合計画の位置づけ

- ① 一貫性あるまちづくりを計画的に推進するための指針
- ② 全ての政策分野における最上位の計画

(3) 策定方法

① 市民参画

- ・ 市民アンケートの実施
- ・ 事業者ヒアリングの実施
- ・ 生徒や学生からの意見の聴取
- ・ 市民ワークショップの開催
- ・ パブリックコメントの実施

② 総合計画審議会

基本構想や施策別計画の素案を調査審議

③ 議会

策定の過程において、「意見交換」を開催

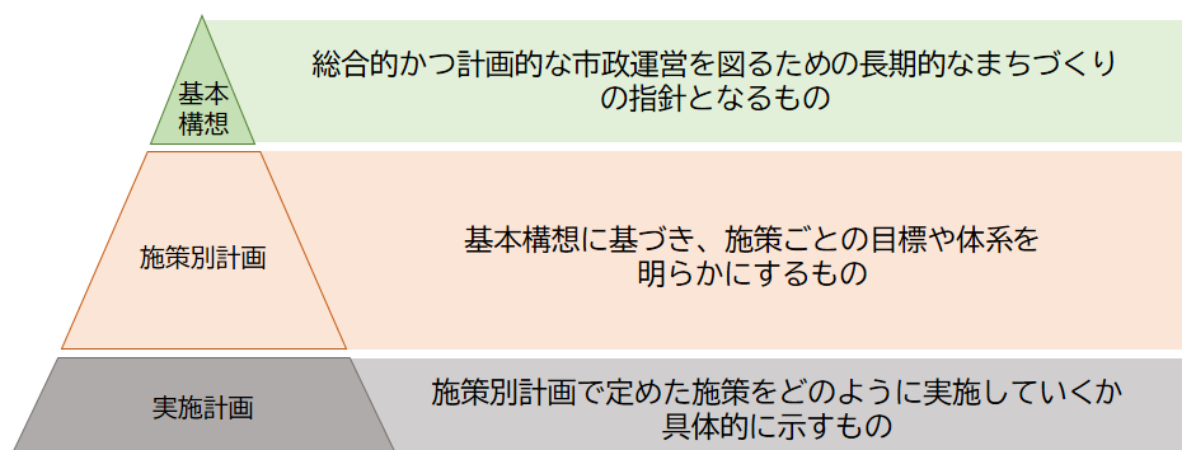
④ 庁内各課

- ・ 職員向けのアンケートの実施
- ・ 幹部職員で構成する総合計画策定会議の開催
- ・ 総合計画の素案を調査検討するため「庁内プロジェクトチーム」を設置

(4) 計画の名称

尾張旭市第六次総合計画

(5) 計画の構成



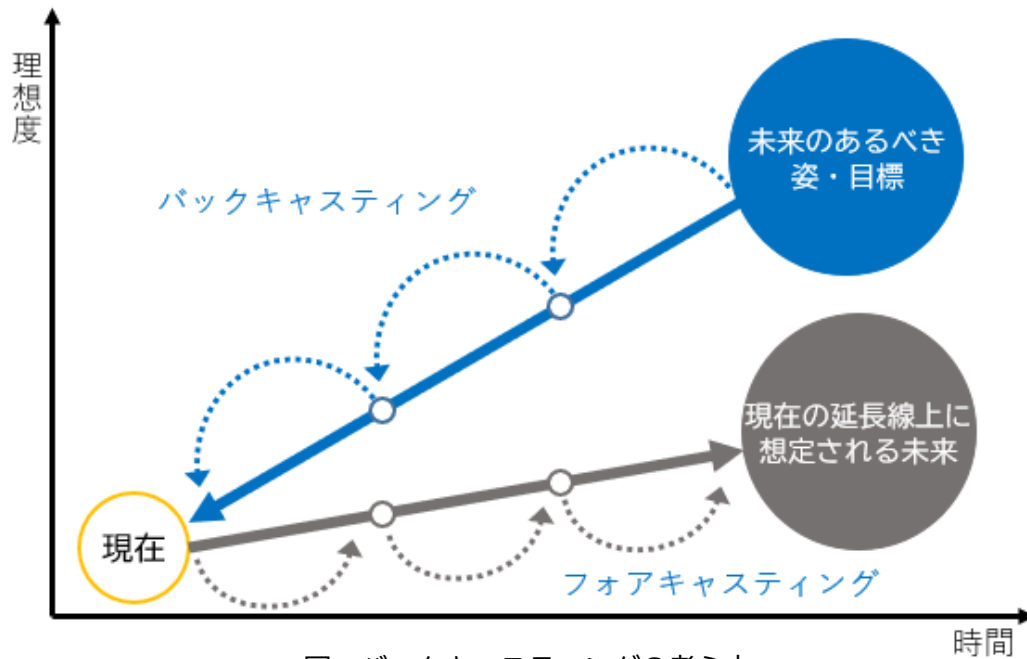
(6) 計画の期間

基本構想：施策別計画：10年

実施計画：3年

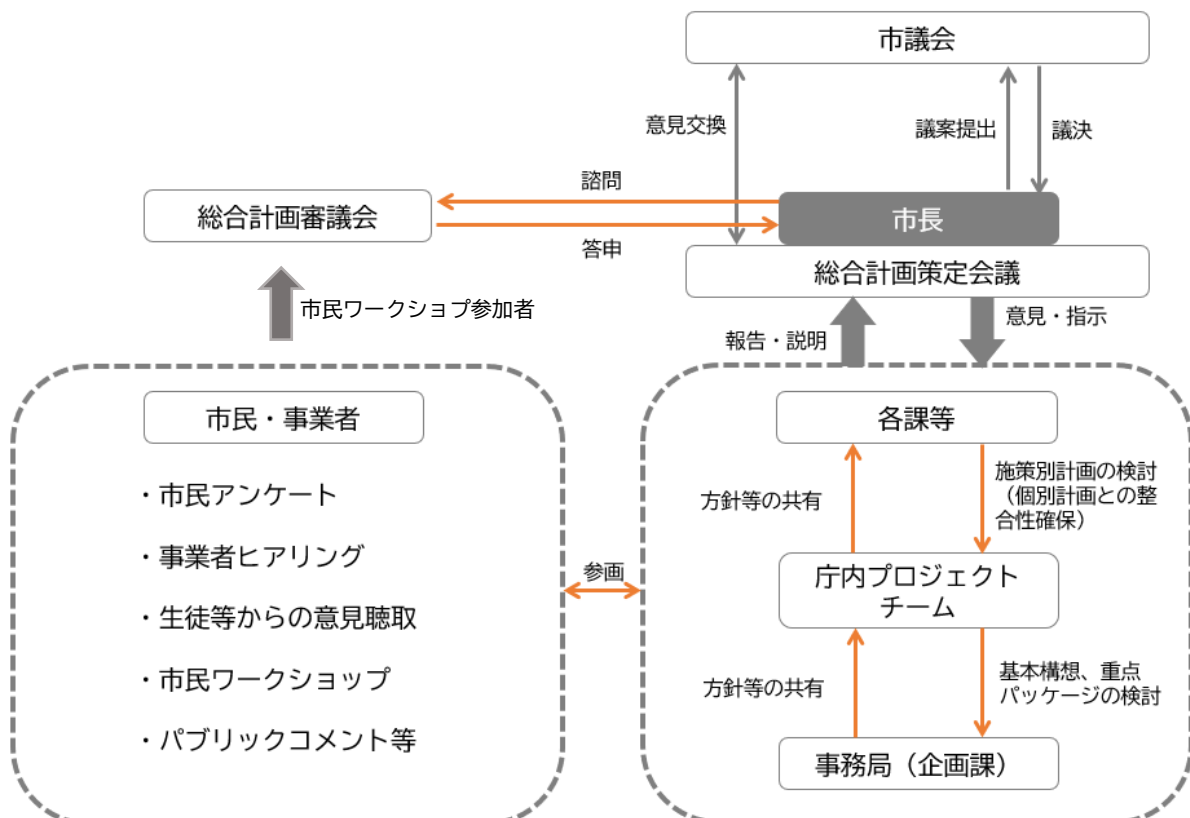
(7) 策定の視点

- ① まちづくりに関わる全ての方々の取組全般を対象とした計画とする
- ② 未来のあるべき姿や目標からバックカスティングで施策等を検討する
(下図参照)
- ③ 施策別計画には各分野の個別計画を示し、一貫性を保つ
- ④ 施策ごとに SDGs の目標を示す



図：バックカスティングの考え方

(8) 策定体制



1 策定の流れ



2 市民参画の取組

(1) シンポジウムの開催

- ・ 令和4年2月12日に開催
- ・ 開催内容
 - ① 基調講演「持続可能なまちづくりに向けて」
内田俊宏氏（中京大学経済学部客員教授）
 - ② パネルディスカッション ―あさひの歩みから未来へ―
＜コーディネーター＞
伊藤雅一氏（名古屋産業大学教授）
＜パネリスト＞
松本哲男氏（愛知県森林公園管理事業部長・名古屋大学名誉教授）
水津功氏（愛知県立芸術大学教授）
水野智之（中部大学教授）

(2) 市民アンケート 参考資料②

- ・ 令和4年6月に実施
- ・ 無作為に抽出した3,000人の市民（16歳以上）が対象
- ・ 回答率 約44%
- ・ アンケート内容
まちづくりに関する意向や、希望する暮らし方など

(3) 事業者ヒアリング 参考資料③

- ・ 令和4年6月～9月に実施
- ・ 尾張旭市商工会の各部会役員へのヒアリング
- ・ 市内不動産事業者へのヒアリング
- ・ 尾張旭市商工会員・尾張旭青年会議所へのアンケート

(4) 生徒や学生からの意見聴取

① 渋川小学校への出前授業 参考資料④

- ・ 令和4年11月、令和5年2月に実施
- ・ 渋川小学校の3年生
- ・ 市の魅力アップに関する方策を児童たちが提案



② 中学生アンケート 参考資料⑤

- ・ 令和4年5月に実施
- ・ 市内中学校の全生徒が対象
- ・ 回答率 約84%
- ・ アンケート内容
まちづくりに関する意向や、希望する暮らし方など

③ 高校生インタビュー 参考資料⑥

- ・ 令和4年11月に実施
- ・ 旭野高校の生徒会（5人）が対象
- ・ 聞き取り内容
10年後の自分と暮らし
行政や社会に望むもの



④ 金城学院大学との連携した取組 参考資料⑦

- ・ 令和4年10月～令和5年1月に実施
- ・ 同校との包括連携協定の一環として実施
- ・ 50人の学生から10個のまちづくりに対する提案

(5) 市民ワークショップ「あさひまちづくり会議」 参考資料⑧

- ・ 令和4年8月～10月に3回実施
- ・ 市民アンケートの対象者等より募集した40人（大学生～70代）が参加
- ・ 各回のテーマ

第1回：わたしが暮らすまちってこんなに魅力的！

第2回：わたしたちが思い描く、理想の暮らし！

第3回：こころ豊かな暮らしをみんなで実現しよう！



(6) パブリックコメント

令和5年7月～8月を予定

3 市内部での取組

① 総合計画策定会議

- ・ 市長・副市長・教育長・部長級職員（13人）で構成
- ・ 庁内プロジェクトチームや企画課で検討した内容を確認し、素案を策定
- ・ 令和3年度に3回、令和4年度に10回の合計13回開催

② 庁内プロジェクトチーム

- ・ 主査・係長・課長補佐級職員32人で構成
- ・ 総合計画策定会議の所掌事務を調査検討するために設置
- ・ 検討内容
 - 第五次総合計画の施策をとりまく現状と課題の分析
 - 第六次総合計画基本構想等の事前検討
 - 現計画の見直し方針を考える
 - 尾張旭市の将来を改めて考える
 - 重点施策を考える
 - 新たな施策を考える

③ 各課等・各職員の関わり

- ・ 第五次総合計画の施策をとりまく現状と課題の分析
- ・ 検討内容
 - 現状と課題の整理
 - 10年後にめざす姿の検討
 - めざす姿の実現のために必要な取組の整理 等

4 議会との関係

- ・ 意見交換を実施（3回、令和4年11月、令和5年2月、6月）
- ・ 令和5年12月議会に基本構想部分を議案として提出

参考資料⑨